

# 性感染症の発生状況(3月)

(県内16観測医の報告分)

## 保健所別発生状況

疾病区分		合計	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草
性器クラミジア 感染症	男	32	26								3	3	
	女	19	12		2		1	1		1	2		
	計	51	38		2		1	1		1	5	3	
性器ヘルペス ウイルス感染 症	男	9	8					1					
	女	10	1		3			6					
	計	19	9		3			7					
尖圭コンジ ローマ	男	10	8					1				1	
	女	2	1		1								
	計	12	9		1			1				1	
淋菌感染症	男	11	8					1				2	
	女												
	計	11	8					1				2	
計	男	62	50					3			3	6	
	女	31	14		6		1	7		1	2		
	計	93	64		6		1	10		1	5	6	

\*は、定点がない地区

## 年齢別発生状況

疾病区分		合計	0~ 14	15~ 19	20~ 24	25~ 29	30~ 34	35~ 39	40~ 44	45~ 49	50~ 54	55~ 59	60歳 ~
性器クラミジア 感染症	男	32		1	8	6	4	3	6	2	1		1
	女	19		4	5	6	1	2	1				
	計	51		5	13	12	5	5	7	2	1		1
性器ヘルペス ウイルス感染 症	男	9			3	2	4						
	女	10			1		1		1	1	1	1	4
	計	19			4	2	5		1	1	1	1	4
尖圭コンジ ローマ	男	10			1	2	1	2		2		1	1
	女	2				1						1	
	計	12			1	3	1	2		2		2	1
淋菌感染症	男	11		1		1	2	1	2	3			1
	女												
	計	11		1		1	2	1	2	3			1
計	男	62		2	12	11	11	6	8	7	1	1	3
	女	31		4	6	7	2	2	2	1	1	2	4
	計	93		6	18	18	13	8	10	8	2	3	7

# 性感染症の発生状況(3月分)

(県内16観測医の報告分)

疾病名	報告数	発生状況
性器クラミジア感染症	51 (53)	報告数 51 件(前月比 1.0、前年同月比 0.9)で、前月比は 2 件減少し、前年同月比も 3 件減少しています。男女別は、男性に 32 件と多く見られています。年齢別は、男性は 20～44 歳に 27 件と多く、女性では 15～29 歳に 15 件と多く見られています。地区別は、熊本が 38 件と多く、次いで有明 5 件、宇城 3 件、菊池 2 件、御船、八代、人吉に各 1 件でした。
性器ヘルペスウイルス感染症	19 (24)	報告数 19 件(前月比 0.8、前年同月比 1.1)で、前月比は減少し、前年同月比は僅かに増加しています。男女別は、女性に 10 件とやや多く見られています。年齢別は、女性は 20～70 歳以上と幅広く見られ、男性は 20～34 歳と若年層に見られています。地区別は、熊本が 9 件と多く、次いで八代 7 件、菊池 3 件でした。
尖圭コンジローマ	12 (4)	報告数は 12 件(前月比 3.0、前年同月比 1.1)で、前月比は著明に増加し、前年同月比も僅かに増加しています。男女別は、男性に 10 件と多く見られています。年齢別は、男性は 20～64 歳と幅広く見られ、女性は 25～29 歳、55～59 歳に各 1 件見られています。地区別は、熊本に 9 件と圧倒的に多く、次いで菊池、八代、宇城に各 1 件でした。
淋菌感染症	11 (13)	報告数は 11 件(前月比 0.8、前年同月比 0.5)で、前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、すべて男性でした。年齢別は、男性の 15～69 歳と幅広く見られています。地区別は、熊本 8 件と圧倒的に多く、次いで宇城 2 件、八代 1 件でした。

※( )内数値は前月報告数

※報告数は県内16箇所の指定届出医療機関からの届出数であり、県内の発生総数ではありませんのでご注意ください。

## ※性感染症について

性器クラミジア感染症	潜伏期間は1～3週間。女性では、おりものが増える程度。しかし放置すると不妊症の原因となる。男性では排尿痛や分泌物の増加がみられることもあるが、淋病に比べて症状は軽い。
性器ヘルペスウイルス感染症	潜伏期間は2～10日。性器に痛みを伴う水疱や浅い潰瘍ができる。再発することが多い。
尖圭コンジローマ	潜伏期間は数週間～数か月。性器や肛門などにいぼ状の腫瘍ができる。
淋菌感染症	潜伏期間は3～10日。男性では、激しい排尿痛があり膿が出る。女性では、男性に比べて症状があまりないことが多い。

※STD(性感染症)に感染していると、性器に炎症や損傷がおりHIV(エイズウイルス)感染が起りやすくなると考えられます。県内各保健所で匿名、無料にて検査を受けることができます。詳しくは最寄りの保健所にお問い合わせください。

⇒ [熊本県のホームページ「エイズってなあに」](#)を是非ご覧ください。

(「熊本県のホームページ」→「健康・福祉」→「感染症・疾病対策」→「エイズ」→「エイズってなあに」)

健康危機管理課